

会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第1回弘前市文化財審議委員会議
開 催 年 月 日	平成30年5月2日(水)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後1時30分から午後3時まで
開 催 場 所	岩木庁舎2階会議室3
議 長 等 の 氏 名	委員長 福井敏隆
出 席 者	委員長 福井敏隆 委員 岩瀬直樹 委員 岡田俊治 委員 小松勇 委員 関根達人 委員 瀧本壽史
欠 席 者	委員 内山淳一 委員 山田巖子
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	文化財課長 成田正彦 同課長補佐 神弘樹 同課主幹兼文化財保護係長 小石川透 同課主幹兼埋蔵文化財係長 岩井浩介 同課主事 佐藤俊介
会 議 の 議 題	(1) 有形文化財(建造物)「旧弘前教会牧師館」の指定の可否について (2) その他
会 議 結 果	別添議事録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	旧弘前教会牧師館の復原について 旧弘前教会牧師館建設の経緯 平成30年度弘前市の文化財保護行政について
会 議 内 容 (発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)	別添議事録のとおり

【会議内容要旨】

議題（１）有形文化財（建造物）「旧弘前教会牧師館」の指定の可否について

岡田委員 確認した時点では、柱や梁に大きな損傷はなかったため、そのまま使えると判断できる。ただ、施工に入った段階で、腐食している部分などが出てくる可能性がある。それでも、現状は大きな問題はないと考えられる。

瀧本委員 耐震性や階段部分の頭上の高さなどを考慮すると、どの時代を基準に復原すればいいのか特定が難しい。時代にこだわらずにその時々を組み合わせ、これからの活用を考えた復原の仕方で良いと思われる。

関根委員 教会側で持っている資料から、牧師館建設の経緯がわかって良かった。市指定を目指しているが、活用の仕方次第では、登録有形文化財に登録するという選択肢もあるのではないかと。

事務局 現段階では、大きく改変せず、復原したかたちを極力残して活用していく方向で検討している。また、寄贈の際の教会側の意向もあり、市指定を目指したいと考えている。学生の通行量が多いこともあって２階は休憩したり勉強したりできるくつろげる空間、１階は軽食の提供等をできればと考えている。地元の松森町会との話し合いの際にも、住民が気軽に立ち寄れるような場にしてもらいたいという意見もあった。

関根委員 松森町ふれあい広場に復原することについて、弘前教会から何か意見はあるのか。

事務局 人目に触れるところに復原されることはうれしいことという意見があった。

関根委員 牧師館が教会と並んで建っている明治４０年の絵葉書の写真を松森町ふれあい広場や弘前教会に掲示するなど歴史をしっかりと伝えることはお願いしたい。

事務局 階段などの改変箇所や元々建物があつた場所など、歴史的経緯を掲示しながら活用していきたい。

岩瀬委員 住民の憩いの場所として街角広場が増えてきているが、牧師館についても、特に夏場の休憩場として有効に活用できるのではないかとと思う。

小松委員 外壁には断熱効果のある塗料を検討すると良いと思う。復原後のランニングコストを下げることもできる。

福井委員長 大津塗の復原も予定しているのか。

事務局 予定している。当初の仕様は黄大津のようだが実際に残っていたのは緑がかったものだった。施工の段階で仕様に変更があったのかもしれないが、とりあえずは大津壁に復原する予定。

岡田委員 活用及び維持管理のための変更箇所として「構造補強を実施する」とあるが、耐震補強もするのか。

事務局 不特定多数の人が出入りすることになるので、目立たない部分で柱を増やしたり構造用合板を入れたり、最低限の耐震補強は考えている。

岡田委員 礎石立ちで構造的に弱いことから鉄筋コンクリートを入れた布基礎を設置するとのことだが、切石の表面を整えてその上に布基礎を敷くことになるのか。

事務局 切石には手を加えず、切石の上に土台が乗り、切石と布基礎を中の見えない部分で緊結することを想定している。また、切石にシートを挟んでアンカーを打ち込む工法を検討している。

福井委員長 「旧弘前教会牧師館」を仮指定とし、再建された時点で市指定とするということにしてよろしいか。(全員挙手したため) 出席委員6名全員の賛成で仮指定することで答申する。

議題(2) その他

事務局より、平成30年度の文化財課所管の主要な事業について報告。

- ①史跡等公開活用事業(堀越城跡の整備現場の見学会)について
- ②大森勝山遺跡公開活用事業について
- ③津軽塗技術保存伝承事業について
- ④無形民俗文化財用具修理事業について
- ⑤伝統的建造物群保存地区修理修景事業について
- ⑥大石武学流庭園調査・活用事業について

⑦伝統的建造物群保存地区保存計画及び防災計画見直しについて

⑧旧第五十九銀行本店本館整備事業について

⑨国吉館後線道路改修事業について

関根委員 津軽塗の技術保存伝承事業について、縄文時代の漆器を分析する技術を津軽塗のPRに使えないかと考えている。漆の塗り重ねがどのようになっているかを具体的に画像で示しながら伝えられるのではないかと思うので、是非、関係者の方にお伝えいただきたい。

小松委員 どんな顔料が使われているか調べることで作られた時代がわかるし、PRにも有効な手段と思う。